

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/06/05		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20172050670001	科目番号 / Subject code	20506700
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	障害とインクルージョン / Disability and inclusion		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 沖田 実 / Okita Minoru, 神津 玲 / Kozu Ryo, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田中 悟郎 / Tanaka Gorou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 沖田 実 / Okita Minoru, 神津 玲 / Kozu Ryo, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]101講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	goro@nagasaki-u.ac.jp, ryokozu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科5階・3階		
担当教員TEL/Tel	田中 (819-7995)、神津 (819-7963)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	田中 : 17:00-18:00 神津 : 月曜日17:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	人間を身体的・心理的・社会的から理解を深め、保健医療従事者になる者として必要な基本的な事項を学習する。 モジュール では人間の発達や健康問題、障害を日常生活や社会生活と関連して概論的に学習する。 。「障害とインクルージョン」では、社会的に不利な状況にある障害者や高齢者、子ども、病気を		
授業到達目標 / Goal	みんなが共に暮らしていける社会づくりについて説明できる。 理学療法、作業療法の意義と目的について説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	DVDやスライドなど病者や障害者の映像、マスメディアやインターネット記事を見ながら、病者や障害者が抱える今日の問題を考える。他のモジュール 科目「ライフサイクルと健康」「生活障害と人間の尊厳」と連動して学習する。 モジュール の3科目共同でテーマを設定し、このテーマについてグループ学習(6名程度)を行い、プレゼンテーションを行う。		
授業内容 / Class outline / Con	高齢者や障害のある人が社会の一員として生活するために必要な課題と対応について学ぶ。特に、リハビリテーションの中心となる理学療法や作業療法の役割を理解し、共に暮らしていける社会とは何かについて学ぶ。 理学療法 1. 障害をもつ人の生活(神津) 2. 障害について理解する(神津) 3. 障害者の福祉とその理念(神津) 4. 障害の医療:リハビリテーションとその考え方(神津) 5. リハビリテーション医療における理学療法の役割と実際(沖田) 6. リハビリテーション医療の対象となる身体障害:各論1(神津) 7. リハビリテーション医療の対象となる身体障害:各論2(神津) 8. 人間の尊厳と終末期におけるリハビリテーション(沖田) 作業療法 1.精神障害を持つ人の生活支援1(田中悟郎) 2.精神障害を持つ人の生活支援2(田中悟郎) 3.発達障害を持つ人の生活支援1(徳永) 4.発達障害を持つ人の生活支援2(徳永) 5.認知症を持つ人の生活支援1(田中浩二) 6.認知症を持つ人の生活支援2(田中浩二)		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	障害 インクルージョン 理学療法 作業療法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	配布資料		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業後に出される課題に関するレポート(30%)、授業やグループへの貢献(20%)、テーマについてのプレゼンテーション(50%)で評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			

アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	<p>前の講義で課題を提示する。その課題について事前調査をして講義に臨むこと。講義では、自分の意見が述べられるように準備すること。</p>

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20172050671001	科目番号 / Subject code	20506710
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健康と運動 / Health and Exercise		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 淳哉 / Sakamoto Jiyunya, 中野 治郎 / Nakano Jirou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	坂本 淳哉 / Sakamoto Jiyunya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	坂本 淳哉 / Sakamoto Jiyunya, 中野 治郎 / Nakano Jirou		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部(保)・1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jun-saka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	保健学科3F		
担当教員TEL/Tel	095-819-7964		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	運動不足は運動能力や筋力・骨密度の低下だけでなく、呼吸・循環・代謝・免疫機能などの低下をきたし、生活習慣病、生活不活発病などの原因となる。また、抑うつ、認知症の進行など心身の機能低下をまねき、生活の質が低下する。健康に生きるための運動の意義と実践方法について学ぶ。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の健康における運動の意義を理解する。 2. 運動不足がもたらす健康障害を知る。 3. 医療支援について考える。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義にグループワーク、討論、演習、プレゼンテーション等を取り入れ、自ら考え、行動する学習法を身につける。		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1回目 運動と身体と脳 (坂本) 2回目 運動とこころの健康 (坂本) 3回目 運動と疾患 (坂本) 4回目 各ライフステージの健康と運動 (坂本) 5回目 運動と栄養・休養 (坂本) 6回目 腰痛・肩凝りに対する運動効果 (中野) 7回目 ストレッチの効果 (中野) 8回目 グループワーク1 9回目 グループワーク2 10回目 グループワーク3 11回目 グループワーク4 12回目 グループワーク5 13回目 プレゼンテーション1 14回目 プレゼンテーション2 15回目 プレゼンテーション3 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	運動、生活習慣、健康		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	随時、資料を配付する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートおよび授業に臨む態度、グループワーク・討論・プレゼンテーションでの積極性、発表内容などを総合判定する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/06/08 ~ 2017/08/02		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20172050672001	科目番号 / Subject code	20506720
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	健康を支える家族と社会 / Health, Family and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO, 本田 純久 / Honda Sumihisa, 大山 祐介, 大町 いづみ / Oomati Idumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO, 本田 純久 / Honda Sumihisa, 大山 祐介, 大町 いづみ / Oomati Idumi		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]101講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	保健学科1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hirano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科研究棟4階		
担当教員TEL / Tel	095-819-7940		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメールでアポイントメントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	保健・医療・福祉領域における今日の家族および地域社会のありかたについて、定義、機能、健康 問題との関連性、今後の課題などを、現在、保健・医療・福祉領域において活動するゲストスピー カーによる話題を分析・考察することを通し、理論的および実践的に学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	健康・病気と、それらをめぐる家族および社会のありかたについて、実践例を踏まえ、論理的に 説明することができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	健康・家族・社会の関連性についての概念的枠組、事例検討を、ゲストスピーカー、学内非常勤講 師による実践例を参照しつつ、自ら調査してまとめ、発表を行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	健康、家族、社会、ソーシャル・キャピタル		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	90%課題学習の発表・レポート、10%授業への積極的な取り組み状況。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	単位取得を希望する者は、自己責任にて、期限内に授業の登録を行うこと。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)に相談すること。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	レポートの課題は計4本課される。これらは成績評価の90%を占めるため、一つでもレポートを提出するのを怠ると、単位取得は難しくなるので、了承の上受講すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	6月9日(1校時): イントロダクション: 健康・家族・社会の関係(1)(平野)		
第2回	6月9日(2校時): 健康・家族・社会の関係(2)(平野)		
第3回	6月16日(1校時): 退院支援一病院から地域へ(大山)		
第4回	6月16日(2校時): 健康と家族・事例検討(1)(大町)		
第5回	6月23日(1校時): 健康と家族・事例検討(2)(大町)		
第6回	6月23日(2校時): 健康と家族・事例検討(3)(大町)		
第7回	6月30日(1校時): 健康・家族・社会の関係(3)(平野)		

第8回	6月30日（2校時）：地域で生活する患者を支援する（長崎大学病院ソーシャルワーカー青木）
第9回	7月7日（1校時）：健康・家族・社会の関係（4）（平野）
第10回	7月7日（2校時）：高齢者の社会的孤立（本田）
第11回	7月14日（1校時）：高齢者を支える地域のつながり（本田）
第12回	7月14日（2校時）：ソーシャル・キャピタルと健康（本田）
第13回	7月21日（1校時）：ソーシャル・キャピタルと健康－鶴の尾町の事例から（平野）
第14回	7月21日（2校時）：鶴の尾町団地「助っ人隊」の活動について（ゲストスピーカー）
第15回	7月28日（1校時）：最終レポート

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20172050673001	科目番号 / Subject code	20506730
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	暮らしと環境 / Community living and environment		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji, 有永 洋子, 横尾 誠一 / Yokoo Seiiti, 田中 準一 / Junichi TANAKA, 本多 直子 / Honda Naoko, キット 彩乃 / Kitsuto Ayano, 加藤 千穂 / Kato Chiho		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	石松 祐二 / Ishimatsu Yuji, 横尾 誠一 / Yokoo Seiiti, 田中 準一 / Junichi TANAKA, 本多 直子 / Honda Naoko, キット 彩乃 / Kitsuto Ayano, 加藤 千穂 / Kato Chiho		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuji-i@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科 4 F		
担当教員TEL / Tel	819-7941		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールで担当教員にアポイントを取ってください。保健学科以外の教員に関する場合は、石松までメールをして下さい。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	「日々の暮らし」や「暮らしを取り巻く環境」と健康の関わり合いを、様々な観点から捉え、現在の状況や抱えている問題点・課題などを学んでいく。		
授業到達目標 / Goal	1. 人々の暮らしについて様々な形態があることを理解できる。 2. 人々の暮らしに影響を及ぼす要因を述べるができる。 3. 療養を必要とする人々の暮らしと居住環境について地域特性や年齢による違いを考えることができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	オムニバス形式で多面的な視点からの講義を受ける。また、講義を受けたのち、グループワークを通して意見交換を行い、レポートによる学習成果のまとめを行う。		
授業内容 / Class outline / Con	1. 10月5日 「ガイダンス」 石松 祐二 2. 10月12日 「喫煙による健康問題(1)」 河野 哲也 (呼吸器内科) 3. 10月19日 「喫煙による健康問題(2)」 河野 哲也 (呼吸器内科) 4. 10月26日 「社会的不利条件と人々の暮らし(1)」 田中 準一 5. 11月2日 「社会的不利条件と人々の暮らし(2)」 田中 準一 6. 11月9日 「PM2.5と健康」 尾長谷 靖 (呼吸器内科) 7. 11月30日 「暮らしと生活習慣病(1)」 石松 祐二 8. 12月7日 「暮らしと生活習慣病(2)」 山下 裕 (腎臓内科) 9. 12月14日 「妊婦の健康と環境(1)」 加藤 千穂 10. 12月21日 「妊婦の健康と環境(2)」 加藤 千穂 11. 1月4日 「地域住民の健康と環境(1)」 キット 彩乃 12. 1月11日 「地域住民の健康と環境(2)」 キット 彩乃 13. 1月18日 「在宅で療養する人々における環境(1)」 横尾 誠一 14. 1月25日 「在宅で療養する人々における環境(2)」 横尾 誠一 15. 2月1日 「暮らしと微生物」 石松 祐二		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	暮らし (生活) 環境 喫煙 社会的不利 生活習慣病 妊婦 地域住民 在宅 微生物		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	配付資料およびLACS資料		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業に対する積極的な取り組み (30%)、レポート (30%)、まとめ試験 (40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1. 10/5 (木)	ガイダンス (石松 祐二)		

2. 10/12 (木)	「喫煙による健康問題(1)」(河野 哲也 [呼吸器内科])
3. 10/19 (木)	「喫煙による健康問題(2)」(河野 哲也 [呼吸器内科])
4. 10/26 (木)	「社会的不利条件と人々の暮らし(1)」(田中 準一)
5. 11/2 (木)	「社会的不利条件と人々の暮らし(2)」(田中 準一)
6. 11/9 (木)	「PM2.5と健康」(尾長谷 靖 [呼吸器内科])
7. 11/30 (木)	「暮らしと生活習慣病(1)」(石松 祐二)
8. 12/7 (木)	「暮らしと生活習慣病(2)」(山下 裕 [腎臓内科])
9. 12/14 (木)	「妊婦の健康と環境(1)」(加藤 千穂)
10. 12/21 (木)	「妊婦の健康と環境(2)」(加藤 千穂)
11. 1/4 (木)	「地域住民の健康と環境(1)」(キット 彩乃)
12. 1/11 (木)	「地域住民の健康と環境(2)」(キット 彩乃)
13. 1/18 (木)	「在宅で療養する人々における環境(1)」(横尾 誠一)
14. 1/25 (木)	「在宅で療養する人々における環境(2)」(横尾 誠一)
15. 2/1 (木)	「暮らしと微生物」(石松 祐二)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2017/04/01 ~ 2017/09/28		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20172050676001	科目番号 / Subject code	20506760
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	加齢		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	佐藤 克也 / Satou Katuya, 松浦 江美 / Matsura Emi, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	佐藤 克也 / Satou Katuya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	佐藤 克也 / Satou Katuya, 松浦 江美 / Matsura Emi, 井口 茂 / Inokuti Shigeru		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]セミ兼講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	satoh-prion@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	保健学科5階		
担当教員TEL/Tel	(直通)095-819-7991 (内線7991)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(訪室前に電話連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	“老化”とは加齢に伴って生体機能、例えば筋力、神経伝導速度、肺活量、病気に対する抵抗力などが低下することであり、“加齢”と“老化”とは異なる。加齢と老化の対比をもとに、運動に密接に関わる筋・骨格系、神経系、呼吸・循環系に関する加齢・老化を知り、生物学的老化と加齢を学ぶとともに、高齢者がその背景として抱えている身体的・心理的な問題を整理し、いかにして対応していくのか考えていく。		
授業到達目標/Goal	医療人として、医学、看護、理学、作業の側面から「老化」を考え、さらに「老化」を個人で考え、次にグループと個人でじっくりと考えていく。さらに考え、調べたことをレポートにし、大学生として行動する学習法について学ぶ。		
授業方法 (学習指導法) /Method	基本的にこの講義はアクティブラーニングであり、教員は学生の講義の補助にすぎない。学生たちが主体になり、授業を進めていく。学生は教員に頼らないことを原則とする。		
授業内容/Class outline/Con	<p>“老化 (senescence, aging)” と “加齢(aging)” は混同されやすい表現で、専門家でもしばしば不正確な使い方をすることがあります。通常、“加齢”とは、ヒトやネズミでは生まれてから死までの物理的な時間経過のことで、ハエやセンチュウでは成虫になってから死ぬまでの時間経過を指します。したがって、多くの動物では“加齢”の間に“老化”が進行します。</p> <p>“老化”とは加齢に伴って生体機能、例えば筋力、神経伝導速度、肺活量、病気に対する抵抗力などが低下することです。年齢にともなうこのような機能低下は、一般に生殖年齢に達したあとに始まり、人によって早い遅いはありますが誰にでも起こります。ヒトでは20歳から30歳以降に始まり、注意していただきたいのは「老化は病気ではない」ということです。老化関連疾患あるいは老年病は生物学的な老化が背景にある場合が多いと考えられます。実際、動脈硬化症、骨粗鬆症、糖尿病、認知症などの老化関連疾患の最大のリスクファクターは「加齢」としてしばしば言われます。</p> <p>動物種間で比較すると、一般に寿命が長い種ほど老化速度は遅いと言えますが、同一種内の個体間では必ずしもそうとは言えません。病気や事故での死亡は老化とは関係なく起こることもあるからです。</p> <p>加齢の過程ではヒトでも動物でも生体内外の原因による死亡確率が指数関数的に増加します(これをGompertzの法則といいます)。ヒトでは、30歳以降大体8年毎に死亡確率は約2倍ずつ増えてゆきます。80歳では40歳の30倍も死にやすいということになります。しかし、90歳以上の超高齢者では増加が緩やかになることが知られています。超高齢まで生きる人々は特別に丈夫に出来ているのかもしれませんが。</p> <p>「老化」や「加齢」のほかに時に混同される言い方に「寿命」があります。「寿命」は、誕生から死までの期間(時間経過)であり、種の最長寿命を指すこともあります。</p> <p>本モジュールでは、医学、看護、理学、作業の側面から「老化」を考え、さらに「老化」を個人で考え、次にグループで考え、さらに各分野での「老化」の問題点を明らかにし、グループ発表と個人レポートへ向ける。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	特になし。		
キーワード/Key word	加齢、生活習慣、健康、高齢者の感情		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定はない(必要に応じて準備する)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートおよびグループ発表、討論での積極性、発表内容などを総合的に判定する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特にないが、モジュールの再履修者を中心に開講する。		
アクセシビリティ/Accessibility			
備考(URL)/Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4月7日)	総論、日程説明、モジュールの方針
第2回 (4月14日)	加齢とは
第3回 (4月21日)	加齢と老化(理学療法の側面)(1)
第4回 (4月28日)	加齢と老化(理学療法での側面)(2)
第5回 (5月12日)	加齢と老化(看護の側面)
第6回 (5月19日)	加齢と老化(作業療法での側面)(1)
第7回 (5月26日)	加齢と老化(作業療法での側面)(2)
第8回 (6月9日)	グループの発表のための準備(1)
第9回 (6月16日)	グループの発表のための準備(2)
第10回 (6月23日)	グループ発表(1)
第11回 (6月30日)	グループ発表(2)
第12回 (7月7日)	レポートのための準備(1)
第13回 (7月14日)	レポートのための準備(2)
第14回 (7月21日)	総括

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20172050678001	科目番号 / Subject code	20506780
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	人の発達と成長		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	鶴崎 俊哉 / Tsurusaki Toshiya, 森藤 香奈子 / Morifuji Kanako, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]101講義室		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toshiya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	保健学科 3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7960 (内線: 7960)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月・水・金の12:00-12:50 火・木の17:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	人の定型発達と発達に影響を与える因子について多面的に学び、発達に障害がある場合と対比させることで発達に関する理解を深める。		
授業到達目標/Goal	医療者として発達を援助するために必要な知識、考え方を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	教員およびゲストスピーカーの講義による話題提供の後、各自調べ学習を行いグループワークを行う。最終的には発達をいかに援助するかについてプレゼンテーションを行う。		
授業内容/Class outline/Con	定型発達に関して看護、作業療法、理学療法、保育の立場から講義・話題提供を行い、関連する知識についての調べ学習、グループワークを通して多面的に発達に関連する因子について考察する。また、発達を援助する立場に立ったとき、それぞれの立場でどのような援助ができるかについてプレゼンテーションにより自らの考えを伝える手法についても学習する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	定型発達 こども		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない(必要に応じて資料を配付する)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	グループワークへの貢献(30%), プレゼンテーション(20%), 定期試験(50%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	こどもの発達を多職種の立場から解説します。 専門職としての基本的知識としてだけでなく、将来親になった時にも役立てて欲しい内容です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション, 運動発達: 鶴崎 運動発達に関するグループワーク		
第2回	認知・対人関係・情動・行動の発達: 岩永 認知・対人関係・情動・行動の発達に関するグループワーク		
第3回	母子関係・摂食の発達: 森藤 母子関係・摂食の発達に関するグループワーク		
第4回	遊びの発達・集団行動の発達: ゲスト(保育園園長 柿田先生) 遊びの発達・集団行動の発達に関するグループワーク		
第5回	遺伝: 森藤 遺伝に関するグループワーク		
第6回	発達障害: 岩永 発達障害に関するグループワーク		

第7回	運動発達の問題：鶴崎 運動発達の問題に関するグループワーク
第8回	総括 定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/04/01 ~ 2017/06/02		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//
時間割コード / Time schedule code	20172050701001	科目番号 / Subject code	20507010
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	被ばくと健康		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	永田 明 / Nagata Akira, 上野 和美 / Ueno Kazumi, 大山 祐介		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	永田 明 / Nagata Akira		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	永田 明 / Nagata Akira, 上野 和美 / Ueno Kazumi, 大山 祐介		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[保]101講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nagata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	保健学科4階		
担当教員TEL / Tel	095 - 819 - 7938		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時メールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	長崎大学 (学士課程) 全学共通の3P(AP/CP/DP)の中で、長崎は、被爆体験をもとに世界の恒久平和を宣言した平和都市であることに触れている。また、保健学科の教育理念の中でも、原爆被害県として未だその後遺障害に苦しむ多くの患者が存在し、地域医療・ケア体系の確立の視点からも、資質の高い医療専門職の育成の必要性を述べている。本科目は、保健学科で学ぶ学生として、被ばくと健康との関係について学習する。		
授業到達目標 / Goal	1. 放射線の基本的な知識について理解し、被ばくと健康の関係について説明できる。 2. 被ばくに関する歴史的な経過を説明できる。 3. 医療・災害における被ばくに関するトピックスを理解し、健康との関係について説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義・演習		
授業内容 / Class outline / Con			
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	被ばく・健康		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	講義内で随時紹介		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート課題40点, グループワーク40点, 授業への貢献20点		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回	コースオリエンテーション		
2回	健康とは		
3回	放射線の基本的な知識		
4回	被ばくの歴史		
5回	医療における被ばく		
6回	災害における被ばく		
7回	グループワーク		
8回	グループワーク		

9回	グループワーク
10回	グループワーク
11回	グループワーク
12回	グループワーク
13回	グループワーク発表会
14回	グループワーク発表会
15回	まとめ